



Web Fairy Paradise

第36号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ JIGSAW BOX #06
- ・ 第45回推理将棋出題

結果発表

- ・ 第33回WFPフェアリー作品展
- ・ 第44回推理将棋出題

読み物

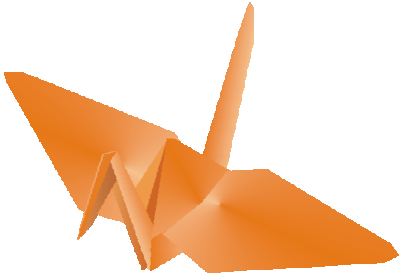
- ・ 新約・神話大全 全国大会販売

がんばろう！日本



2011/6

はじめに



詰将棋全国大会開催まであと一ヶ月を切りました。今年は7月17日(日)13時より高槻市総合市民交流センターにて開催されます。4年前の神戸には私も参加したのですが、相変わらずバドミントンの最重要大会と重なっており今年の参加は微妙といった所です。

今年の大会では「新約・神話大全」が神無七郎氏により直接販売されるという事で、御本人のサインも頂ける上になんと「ミクロコスモスの世界」まで特典として付いてくるという素晴らしい。12冊の限定販売となれば買うしかないでしょう。

フェアリストの皆さんは七郎さんとお話が出来るといい機会です。是非WFPフェアリー作品展の投稿作品を直接手渡され感想を聞かれていますかでしょうか？山田嘉則さんもスタッフとして参加されるようですし楽しみは多いですねえ。

う～ん。行きたくなってきた。

森茂さんが亡くなられて4年が過ぎました。懸案になっています「森茂作品集」をそろそろ本格的にスタートしたいと思っています。今現在は作品一覧の作成及び検討を進めている処ですがそれがある程度まとまれば具体的なスケジュールを決めていきたいと思ひます。「新約・神話大全」のメンバーはもちろんお力になっていただけると思ひますが、協力してもいいよといおう方は御連絡頂ければ嬉しいです。こうしたらいいという御意見がありましたら、どしどし私までメール下さい。WFP誌上にて煮詰めていきたいと思ひます。

【 募 集 】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第36号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

* ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

JIGSAW BOX #06 出題

今年3月に公開された「新約・神話大全」には私も執筆させて頂きましたが、その作業の中で自覚するほか無かったのは、自分は将来決して「全局集」の類を編もうなどと考えてはいけないということでした。寡作な割にクオリティーが不安定なので、「全集」どころか10年に1度の「選集」でも難関です。

ところで、過去・現在を通じて最も「全局集」が刊行されて然るべきフェアリー作家はと考えると、やはり故・森茂さんでしょう。もし編集・刊行の作業が具体化すれば、私も出来る範囲で協力します。代表局に行き届いた解説を付すなどはとても無理ですが、作品に簡単なコメントを書く程度は出来ると思います。

いずれにしろ編集作業には時間がかかるでしょうし、早く完成して悪い理由は無いので、この際計画の具体化を提言しておきます。

さて、今年もアマレン杯便乗握り詰作品の一斉出題です。今回は普通詰将棋もOKと明記したためか、新人さんからの投稿もありました。必要な駒かどうか際どい配置もあるのですが、その辺りは大らかに見て欲しいと思います。

06-05の神無七郎作は、「第32回WFPフェアリー作品展」の一連の同氏作が解図の参考になるでしょう。

(<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/WFP35.pdf> で結果稿を読むことが出来ます)

解答募集期間を少し長めに設定します。皆様からのご解答お待ちしております。

尚、前回までは通算の登場回数を表示していたのですが、細部に凝り過ぎると長続きしない気がしてきたので、中止する事にしました。

担当・小峰耕希

- ・解答締切：7月31日(日) ←多少遅れ可
- ・結果発表：8月20日(土) ←WFP第38号に掲載

解答送付先：jigsawbox@gmail.com

(<http://fourth-of-may.cocolog-nifty.com/blog/>にもメール送信フォームを設置します)

<ルール説明>

【キルケ】駒取りが行われたとき、取られた駒は最も近い指将棋においての初期位置に戻る。

【打歩協力詰】別称打歩ばか詰。必ず打歩で詰ませなければならない協力詰。

【受先】初手を受方が着手する。

【協力自玉詰】別称ばか自殺詰。双方が協力して最短手数で攻方を詰める。

【対面】ある駒Aの1マス前方に敵駒Bがある場合、Aの性能とBの性能が入れ替わる。

【取禁】手順中に駒取りがあってはならない。但し詰み等の概念に取禁は適用されない。

【協力詰】別称ばか詰。双方が協力して最短手数で受方の玉を詰める。

06-01 市橋宗士 普通詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
									二
				馬	王	歩	歩		三
							駒		四
								歩	五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛金

06-02 神無太郎 普通詰 27手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							飛		一
									二
									三
								と	四
							桂	駒	五
								王	六
							歩		七
								金	八
									九

持駒 歩

06-03 小峰耕希

キルケ打歩協力詰 6手 (受先)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					マ	香			四
									五
					王			王	六
									七
								歩	八
									九

持駒 飛金歩

06-04 たくぼん 協力自玉詰 22手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								王	四
			金			と	王		五
			銀			王	飛		六
				歩		歩			七
									八
									九

持駒 なし

06-05 神無七郎 対面取禁協力詰 47手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						王	王		一
						香			二
									三
					マ				四
						王			五
								歩	六
									七
									八
					桂				九

持駒 なし

詰将棋メモ 2011/6/4 出題

推理将棋第45回出題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第45回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの? - 推理将棋入門

(http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をごらんください。

解答、感想はメールで2011年6月20日までにTETSUまで(omochabako@nifty.com)メールの題名は「推理将棋第45回解答」でお願いします。

推理将棋第45回出題 担当 DD++

初級は詰パラ推理将棋担当の渡辺秀行さん。「推理将棋ってこう解くんだよ」の説明に理想的な作品を1作頂戴いたしました。中級もベテランの〇術師さん。42回で余詰に涙を飲んだリベンジに、姉妹局をひっさげての登場です。そしてトリの上級は初登場チャンプさん。13手ながらなんと1条件、人によっては瞬殺、人によってはドツボの1局となることでしょう。

■練習問題

「さっきの将棋、▲76歩△52飛▲75歩△62玉▲74歩△94歩まで見てたけどどうなった？」

「9手で詰んだよ、って言えば残りの3手は分かるよね」

さて、残りの3手はどんな手だったでしょうか。

45-1 初級 渡辺秀行さん作
6手目の妙手 8手

「39同角成」のたった5文字に詰められた情報量の多さに驚いてください。

45-2 中級 〇術師さん作
一番奥への歩成2 10手

42回では49歩成まででした。さて今回は何筋でしょうか。

45・3 上級 チャンプさん作

駒柱詰 13手

香を取りに行く角筋と玉の移動経路が衝突。解消方法は？

■締め切り前ヒント (6月16日 DD++)

それでは締め切り前ヒントです。

初級：まずは後手の6手目までを考え、次に先手の5手目までを考えましょう。

中級：先手が3手目33角不成と飛び込む、後手3筋飛攻めの定石手順です。

上級：玉が五段目へ行くのを馬が阻害しないように11馬への経路を一工夫。

45・1 初級 渡辺秀行さん作

6手目の妙手 8手

「昨日の将棋、たったの8手で負けちゃったよ」

「それは災難だったねえ」

「初手の平凡な歩突きは悪くないと思うんだ。しかし、6手目に同角成と39の駒を取られたのが敗因だね。うっかりしていたよ」

さて、二人の見た将棋はどういう将棋だったでしょうか？

(条件)

- ・ 8手で詰んだ
- ・ 初手は歩の着手
- ・ 6手目は39同角成

45・2 中級 ○術師さん作

一番奥への歩成2 10手

「10手目、敵陣一番奥への歩成まで、と」

「5手目の金気が微妙だったかなあ？」

「不成もあったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 10手で詰んだ
- ・ 10手目は9段目への歩成だった

- ・ 5手目に金気(=金銀)の手を指した
- ・ 不成の手があった

45・3 上級 チャンプさん作

駒柱詰 13手

少年A「13手で勝ったけど素直に喜ばないよなー。」

少年B「どうしたの？」

少年A「六段目の香打ちで駒柱が完成して詰みだったんだよね。」

少年B「不吉だねー。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 13手で詰み
- ・ 13手目に六段目の香打ちで駒柱が完成

■練習問題解答

問題以下、▲55角△93桂▲73角成まで。51へ逃げられないように73角成が必須。そうすると桂が邪魔なので、8手目に守備駒はずしをするのがミソでした。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香		銀	金		金	銀	桂	香	
二				玉	飛			角		
三	桂	歩	馬	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
四	歩		歩							
五										
六										
七		歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

第 32 回 WFP 作品展 結果

担当：神無七郎

今回の解答者は 4 名。

33-2 と 33-3 は、それぞれたくぼんさん、雲海さんが正解を入れてくれたおかげで「作者以外の正解者なし」の危機を回避することができました。33-5 は見た目だけで避けられてしまった感がありますが、実際の手順を見れば明快な仕組みを持つ作品であることが分かると思いますので、無解の方もぜひ解説を読んでください。

〔解答成績〕（敬称略）○：正解 ー：無解

解答者名	1a	1b	1c	2	3	4	5	計
雲海	○	○	○	○	○	○	○	7
たくぼん	○	○	○	○	○	○	○	7
小峰	○	○	○	ー	ー	○	○	5
変寝夢	○	○	○	ー	ー	○	ー	4

■ 33-1 神無太郎氏作（正解 4 名）

a) 協力千日手 16 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
						歩	香	飛	八
						王			九

持駒 なし

【ルール】

協力千日手

先後協力して最短手数で初形に戻す。

【解答】

29 飛 38 玉 39 飛 27 玉 29 飛 28 香
同飛 37 玉 39 香 38 飛 同香 28 玉
18 飛 29 玉 28 飛 39 玉 まで 16 手

【解説】

33-1 の 3 題は神無太郎氏による協力千日手の組局。手数を 16 手に揃え、3 題で飛角金銀桂香歩各 1 枚を使用するという趣向です。

協力千日手では大まかに言って盤上の駒が一旦消えてから再度登場する「消滅と再生」を主題とするものと、盤上の駒だけでやり繰りする「駒の入替」だけで構成されるものに分けることができます。一般の協力千日手はたいていこの 2 つの要素を適度に混合しているわけですが、どちらに比重を置くかで、作品から受ける印象はかなり変わってきます。この 3 題では「消滅と再生」が強調されているのが a)、「駒の入替」のみで構成されているのが b)c) です。

本局 a) は香と飛の 2 枚が一旦消えて再生する構成。これで歩も消えれば…というのは贅沢に過ぎますが、この簡素形で強力な飛香が一旦盤上から消える手順が出てくれば作品価値は充分でしょう。

【短評】

変寝夢 さん

逆算で解決したが、1 8 飛は初形の 2 8 飛がそのまま移動してくると思い込み難渋した。1 0 手目の局面が面白い。

たくぼん さん

飛を一旦消すのがポイントですね。b,c より難しいのに何故 1 番最初？

☆並び順はおそらく主役の駒「飛」「角」

「銀」の順になっているのでしょうか。a) が一番難しく b)、c) の順に易くなるので、難度だけ考えると逆順の方が（担当として）ありがたかったのですが、作者の投稿通りに出題しています。

b) 協力千日手 16 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
						角	桂	王	九

持駒 なし

【解答】

58 角 38 玉 47 角 49 玉 38 角 58 玉
49 角 69 玉 58 角 78 玉 67 角 69 玉
78 角 58 玉 69 角 49 玉 まで 16 手

【解説】

桂で規定された軌道に沿って角と玉が追いかっこをする作品。桂がなくても 16 手ですが、非限定防止に働いています。また、途中で初形と左右が逆の形になりますが、ここで切り上げないのは「協力千日手」のお約束です。

入玉形では簡素な配置で「角追い」を実現することが可能で、協力詰での作例も多いのですが、本局ではこれを協力千日手に応用して、左右対称的な追い回しを実現しています。

ありふれた素材もうまく料理して美味しい料理に仕上げられる——これもまた腕の良いシェフの証でしょう。

【短評】

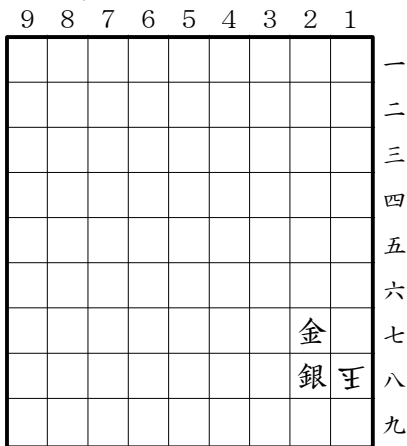
変寝夢 さん

手をつけてみるとスラスラ。8 手目の局面にニッコリ。

たくぼん さん

ファーストトライがそのまま答えだった。くるくる級で楽しい作品。

c) **協力千日手 16手**



持駒 なし

【解答】

19 銀 29 玉 18 銀 38 玉 29 銀 39 玉
28 銀 38 玉 39 銀 29 玉 38 銀 18 玉
29 銀 19 玉 28 銀 18 玉 まで 16 手

【解説】

前局の角追いと同じ原理で今度は銀鋸が出現します。普通なら 4 手で元に戻る形が、たった金 1 枚の追加で 4 倍の 16 手掛かる形になるとは意外です。

飛角香がなく合駒が出ない協力千日手は「取禁」的な性質を帯びますが、本作の 27 金配置はその性質を上手く利用しています。手順自体はほぼ一本道で解くのは簡単ですが、作家の目で見ると作者の持つテクニックに感心させられます。

【短評】

変寝夢 さん

まさに一本道。全て限定されているのが当然とはいえずごいと思う。

たくぼん さん

狭いエリアでの楽しい追いかっこ。

【短評】 (a ~ c 通して)

変寝夢 さん

a,b,c の出題順は変化紛れの数からいくと逆のように感じる。

☆たくぼんさんと同じ感想ですね。でも易しい順に cba とか bca などと配置したら、それはそれで疑問を持たれるような気がします。

小峰 さん

3 局セットで七色図式、手数も 16 手で揃っているのも、言わんとするところは明快。手順的には流石に奇跡は起こりませんが、a) は少し考えどころがある。

雲海 さん

使用駒 7 種 1 枚ずつでこのようなことが出来るとは・・・

☆「易しさ」と「作品価値」の両立は難しいことですが、このセットでは使用駒趣向という洒落たアイデアで易しい好作を実現しています。解答の呼び水となる作品を提供してくれた神無太郎さんに感謝、感謝です。

■ 33-2 雲海氏作（正解2名）

協力自玉詰 46手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
							角	角	四
						金	桂	桂	五
				金			飛	銀	六
						王		王	七
					金	桂	飛		八
					金	桂			九

持駒 なし

【ルール】

協力自玉詰

先後協力して最短手数で攻方の王を詰める。

【解答】

18 飛 同玉 27 銀 29 玉 16 銀 27 飛
 同飛 18 玉 28 飛 17 玉 27 飛 16 玉
 46 飛 26 銀 同飛上 17 玉 28 銀 18 玉
 27 銀 29 玉 36 銀 27 銀 同飛 18 玉
 28 飛 17 玉 27 飛 16 玉 47 銀 26 銀
 同飛上 17 玉 28 銀 18 玉 27 銀 29 玉
 36 銀右 27 銀 18 銀 同玉 16 飛 17 銀
 同飛 同玉 28 銀 同銀生 まで 46 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
							角	角	四
						金	桂	桂	五
				金	飛	銀			六
						銀	王	王	七
						金	桂	王	八
						金	桂		九

持駒 なし

【作者のコメント】

いつもの協力自玉詰です。
 趣向っぽい手順がありますが、やや中途半端
 かも。これ以上発展させる方法が思いつかなか
 ったので、これで投稿します。

【解説】

協力自玉詰を解くコツは詰上りから考えるこ
 と。そして、その詰上りで埋めないといけない
 地点が複数あったら、一番埋めるのが難しそ
 うな所から埋め方を考えることです。

この作品の場合は 36・46・47 の3箇所
 を埋める必要がありますが、やはり一番の難所
 は 47 地点です。ですからここを埋める方法を
 最初に考えましょう。

使用できる駒は実質飛と銀だけですから、

47 地点を埋めるには 46 飛 36 銀の「バッテ
 リー」を作って開き王手で 36 銀を 47 に移動
 させれば良いことはすぐ分かると思います。と
 ころがこれには問題が一つあります。「36 銀
 をどうやって発生させるか」という問題です。

36 銀が利く範囲に玉は移動できませんから、
 またもや開き王手で移動させるしかありませ
 ん。つまり 26 飛 27 銀の形を作ってから 36
 銀と開くのです。このとき 46 飛も配置して
 おく必要があることにも留意しましょう。

さて、これで 46 飛 26 飛 27 銀の形が確定
 すれば、後はそれを無駄なく実現する手順の探
 索です。ただ、手数は 46 手と比較的短い
 ので、ノンビリと駒稼ぎをする余裕はありませ
 ん。なるべく手順の流れを切らずに合駒を入手
 する必要があります。

そんな中で一際重要なのが 5 手目 16 銀で
 す。せっかく 27 に引いた銀をすぐに元の位置
 に戻してしまうので実にやりにくい手ですが、
 これを 18 に引いてしまうと両王手が掛かって
 しまい、飛合を行うことができません。

ここを越えれば、後は目標がはっきりしてい
 るので比較的解きやすいと思います。2 回目の
 36 銀を設置する手順などは趣向的な味わいも
 あり、解後感も良い作だと思います。

本作は駒を所定の場所に移動するのに 2 回の
 空き王手を使う作品ですが、特定の場所に駒を
 移動させるため複数の開き王手を使う作品は、
 まだまだ開拓の余地があり、高度な構想作を生
 み出せる可能性も大きいと思います。本作は飛
 2 枚を軸とした開き王手ですが、他の軸駒を使
 った組合せも見てみたいですね。

【短評】

たくぼん さん

後手の持駒から詰上りが見えたので、楽しく
 解図できました。合駒も全て銀で開き王手と
 のリズムも良く好作。

☆たくぼんさんは（作者以外の）唯一の正解者となりました。無解の皆さんも詰上りの想定はできていたようなので、実現手段の二重の開き王手が見えるかどうか最大のポイントだったのでしょうか。

変寝夢 さん（※無解）

最終形は46飛、47銀、36銀、17玉で28同銀生で詰みと予想。二十数手まで逆算するも沈没。

小峰 さん（※無解）

白旗。どうやって攻方王の退路を塞ぐのだろうか。46に飛を打ち、開き王手で銀を47に持ってきて…とか考えてみたのだけど、時間切れ。

■ 33-3 たくぼん氏作（正解2名）

強欲協力詰 63手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
		銀	金	金					四
									五
					銀		金		六
					銀				七
									八
	金						王	銀	九

持駒 歩18

【ルール】

強欲

駒を取る手があればそれを優先する。

協力詰

先後協力して最短手数で受方の王を詰める。

【解答】

38 銀 同玉 27 銀 同玉 18 銀 16 玉
 17 歩 26 玉 27 歩 35 玉 36 歩 44 玉
 45 歩 同玉 46 歩 36 玉 37 歩 同玉
 38 歩 同玉 29 銀 27 玉 28 歩 17 玉
 18 歩 26 玉 27 歩 同玉 28 歩 37 玉
 38 銀 46 玉 47 歩 56 玉 65 銀 55 玉
 56 銀 64 玉 65 歩 75 玉 76 歩 同玉

67 銀 65 玉 66 歩 75 玉 76 歩 86 玉
 87 歩 同玉 88 歩 77 玉 78 銀 76 玉
 77 歩 66 玉 67 銀 77 玉 78 銀 86 玉
 87 銀 97 玉 98 金 まで 63 手

（詰上り）

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
王	銀				歩				八
金	歩					銀	歩	歩	九

持駒 なし

【作者のコメント】

単純な打捨てでない歩 18 枚持駒作。煙は無理でした。

【解説】

盤面金銀図式から持駒歩 18 枚消化する作品。協力強欲詰では、この条件を達成するだけなら難しくありません。しかし、作者は敢えて安易な解決法を拒否し、解き応えのあるハードな作品に仕上げています。

この作品には大きく2つの難関があります。まず第1の難関が5手目の選択。

（4手目の局面）

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
		銀	金	金					四
									五
								金	六
							王		七
									八
	金							銀	九

持駒 歩18

ここは一目 28 銀と出たくなるところです

が、それでは、

28 銀 16 玉 17 歩 26 玉 27 歩 36 玉
37 歩 47 玉 48 歩 同玉 39 銀 37 玉
38 歩 27 玉 28 歩 17 玉…

のような展開になり、詰みません。1筋に玉が戻ったときに 39 銀の位置では対処できないからです。

ここは銀を敢えて非効率に使う**18銀**が正解。この位置なら後に**29銀**と引けるので、1筋に玉が来ても 18 歩以下、手順の継続が可能になるのです。

第2の難関は 34 手目からの手順の選択です。

(33 手目の局面)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
		銀	金						四
									五
					王				六
					歩				七
						銀	歩	歩	八
	金								九

持駒 歩7

ここは多くの紛れがあります。右の銀を活用しつつ玉を左辺に追いたいので、おそらく多くの解答者は次の手順を選択して挫折したのではないのでしょうか？

57 玉 58 歩 同玉 49 銀 47 玉 48 歩 …

いかにも自然な手順ですが、残念なことにこれでは左辺の銀が活用できません。この難関を突破するには次の思い切った手順を読む必要があるのです。

56 玉 75 銀 55 玉 **56 銀** 64 玉 …

金1枚を犠牲にして、銀で前から王手を掛けられるようにする妙手順です。強欲詰では前方から王手を掛けられるようにすると、手順が続けやすくなるので、1枚の駒損よりも頭から抑

え込む形を作る方が重要です。特に持駒が歩だけという本局のような状況下では「玉は下段に落とせ」が最も優先されるべき事項となります。

左辺の銀が使えるようになってからは比較的易しい手順で収束しますが、その前の2つの関門（特に後者）が厳しく、難問だったと思います。

【短評】

雲海 さん

5手目 18 銀が迷宮の入り口。28 銀として深い森を彷徨いました。攻方の利きを弱くする強欲ルール独特の手ですね。しかも金銀歩を全枚使用している完成品です。

変寝夢 さん (※無解)

3 8 銀以下でなるべく紐付き歩を打ち左辺へ追い込もうとしたが、9 段目持駒歩のみ地獄で撃沈。

小峰 さん (※無解)

玉が中央に来たときにどうやって手を繋げば良いのか見当が付かず。

☆33-2では雲海さんの作品でたくぼんさんが「作者以外の唯一の正解者」となりましたが、こちらは逆に雲海さんが「作者以外の唯一の正解者」になりました。雲海さんは第一関門の方で苦労されたようですが、変寝夢さん・小峰さんは短評から推測すると共に第二関門で脱落したようですね。結局 89 金以外のすべての金は銀を活用するための「餌」として玉に取らせるのを目的とした配置でした。銀は金より上から抑え込む形に誘導しやすいので「強欲詰は金より銀」なんて格言ができそうです。

■ 33-4 小峰耕希氏作 (正解4名)

強欲打歩協力詰 33手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								王	二
									三
歩									四
						麒麟	麒麟		五
									六
									七
									八
歩									九

持駒 なし

【ルール】

打歩

打歩以外の詰めは反則。

麒麟 (麒)

斜めと1間跳んだ前後左右に利く。

		○		
	○		○	
○		麒		○
	○		○	
		○		

(○が麒麟の利き)

【解答】

14 麒 22 玉 24 麒 32 玉 34 麒 42 玉
 44 麒 52 玉 54 麒 62 玉 64 麒 72 玉
 74 麒 82 玉 84 麒 92 玉 94 麒 81 玉
 83 麒 71 玉 73 麒 61 玉 63 麒 51 玉
 53 麒 41 玉 43 麒 31 玉 33 麒 21 玉
 23 麒 11 玉 12 歩 まで 33手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
								歩	二
						麒麟	麒麟		三
									四
									五
									六
									七
									八
歩									九

持駒 なし

【作者のコメント】

某ネット棋友と中将棋をやっている時に閃いたアイデア。麒麟ではこういう事も出来ますというだけの戯作。

【解説】

「麒麟」入門に最適な軽趣向作。麒麟は左右対称・上下対称の綺麗な利きを持つ駒ですが、上下左右の間跳びの利きは桂馬のように途中の邪魔者を飛び越す性質も持っています。つまり、金銀の手筋と桂の手筋の両方を麒麟に適用できる可能性があるわけです。

本局は2枚の麒麟が互いに互いを飛び越す馬跳び型の趣向を主とした往復趣向で、筆者は桂が桂を飛び越す四桂詰を連想しました。玉と麒麟が1間離れているのも桂追っばいですね。序と左辺で反転するときに麒麟の斜めの利きを使って段を変更しており、この駒の持つ潜在的な表現力の大きさを感じさせてくれます。

ところで本作、検討はどうしたか気になりますか？ fmでは「フェアリー駒」+「強欲」の検討はできませんよね。

作者はこうやって検討したそうです。

★完全性について。

fm では合成駒+強欲には対応していないようですが、次のようなやり方でチェックしました。

1) 「強欲」の条件抜きのまったく同じ配置でfmに解かせる。

2) そうすると総計724の解が検出される。

(参考資料：添付ファイル)

3) 後は地道に目視で全ての解をチェック(^^; 4) すると作意(43解目)以外は全て、麒麟が玉に対して斜めから王手をする手があり、「強欲」条件下では「同玉」とされて成立しない。斜め方向からの王手がない解は作意順のみ。

ということで、fmに読み抜けが無ければ大丈夫な筈。(本当はマイナーな機能を使っているときにこのせりふ使っちゃいけないんだけど)

fmは一工夫すると、あらかじめ用意されている機能を越えた能力を得ることができます。詰将棋でも、できそうにないことを実現すると面白く感じる場合がありますが、fmを上手く使って「想定外」の成果を得るのは、結構楽しいことです。皆さんも「想定外」の使い方を工

夫して、その能力を増幅させてみてください。

【短評】

雲海 さん

麒麟の利きに慣れるための作品としてはちょうど良く感じました。それにしてもこんなに簡単に趣向的な手順が紡ぎ出せるのは意外でした。

たくぼん さん

2つの麒麟の利きを図化すると4隅しか詰まない感じ。まず左下に追い99歩を消去して91での詰上りを目指したが手数オーバー。94歩の取り方を考えたら2枚麒麟での追い趣向に気付きました。作意順だけ見れば楽しいくるくる趣向でしたが、利きがややこしくここまで辿り着ける人は少ないかもしれません。

変寝夢 さん

麒麟の筋が違う場合は左や右は必要ないのか。なぜか近藤さんの小駒煙をイメージしてしまった。もう一回折り返せない？

☆この2枚の麒麟の利きは重ならないので、付加的な表記は不要です。でも、たくぼんさんは解答に「右」とか「上」とかを付けていました。この辺はやはり感覚的なものでしょうか？往復回数を増やせる可能性については私もあると思います。何か上手い仕組みを見つければ「四桂追い」のように「二麒麟追い」で盤上を掃くように追いまわすことができるかもしれません。また、近藤氏の小駒煙というのは「シルクロード」のことですね。これは嫦娥型の横迫いの舞台を利用して中段でも横迫いを実現した驚くべき小駒煙です。段を変えて横に往復する点が、変寝夢さんの連想のトリガーになったのだと思います。

【参考図】

近藤真一氏作「シルクロード」105手（修正図）
（詰パラ 1995年5月発表、10月修正）

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一		香	香					玉		
二			杏		香	香	香	香		
三		歩	桂	玉	香			玉		
四			と	と	と		と	銀	香	
五		香					と	桂		
六		香	歩				香		玉	
七			手	香						
八			と		と		と	と	と	
九						桂				

持駒なし

27と右 25玉 37桂 同銀生 36と 同玉
37と右 45玉 44と右 56玉 57銀 同杏
47と右上 同杏 同と寄 66玉 57と寄 76
玉 67と右上 同圭 同と寄 86玉 77と寄
85玉 88香 96玉 87と上 85玉 86と直
94玉 95と 同玉 86と 94玉 85と 93玉
94歩 92玉 84桂 同と 93歩成 同玉
84と上 92玉 91桂成 同玉 92歩 同玉
83と直 91玉 81杏 同玉 82と 同金
同香成 同玉 73と右 71玉 72歩 同銀
同と 同玉 73銀 61玉 62金 同金
同銀成 同玉 63と左 51玉 52金 同金
同と 同玉 53と直 41玉 42金 同金
同と 同玉 43と 31玉 23桂生 同銀
21香成 同玉 22歩 11玉 12歩 同銀
21金 同銀 同歩成 同玉 32銀 11玉
12歩 同玉 23銀上成 11玉 21銀成
同玉 32と 11玉 22と まで105手

■ 33-5 小峰耕希氏作 (正解3名)

『 King On The Silver Mountain 』

成禁協力自玉詰 330手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	一
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	二
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	三
銀	銀	歩	角	銀	銀	銀	銀	銀	四
銀	銀	銀	銀	銀	桂	銀	銀	角	五
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	桂	桂	六
銀	銀	銀	銀	銀	桂	麒麟	桂	桂	七
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	桂	八
銀	銀	銀	桂	王	歩	桂	銀	王	九

持駒 麒麟163

【ルール】

成禁

手順中に駒を成る手があつてはならない。

(本作は非標準駒数作品ですが、受方の持駒の有無は関係ないため表記を省略しています。)

【解答及び解説】

本作は非標準駒数作品で手数も長いので、簡単な説明を交えながら、手順を並べて行きたいと思います。まずは初形から 10 手ほど動かしてみましょう。「成禁」なので「不成」の表記は省きます。

48 麒麟 同銀 57 麒麟 同銀右引 68 麒麟 同玉
59 麒麟 同銀左 48 麒麟 同銀上

(途中図1 : 10 手目)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	一
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	二
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	三
銀	銀	歩	角	銀	銀	銀	銀	銀	四
銀	銀	銀	銀	銀	桂	銀	銀	角	五
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	桂	桂	六
銀	銀	銀	銀	桂	麒麟	麒麟	桂	桂	七
銀	銀	銀	王	銀	銀	銀	桂	桂	八
銀	銀	銀	桂	歩	桂	銀	王	王	九

攻方持駒 麒麟158

この 10 手で本作の基本的な仕組みは分かったと思います。玉の進行を邪魔している銀を麒麟の捨駒で繰り替えて、進路を確保していくわけです。

でも、玉はどこに向かって進めば良いのでしょうか? 桂馬や歩の利きにより玉が進入できない地点を除いて、コースの想定図を書いてみましょう。麒麟の性質から、進路は斜めにしかとれないので、次のようなジグザグのコースを想定することができます。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	一
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	二
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	三
銀	銀	歩	角	銀	銀	銀	銀	銀	四
銀	銀	銀	銀	銀	桂	銀	銀	角	五
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	桂	六
銀	銀	銀	銀	銀	桂	麒麟	麒麟	桂	七
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	桂	八
銀	銀	銀	桂	王	歩	桂	銀	王	九

この図の赤い線が、玉の通るコースを示しています。このコースはほぼ一本道で、途中でわずかな紛れ(青い線)がありますが、青い線を通るのは赤い線に比べて手数が掛かるので、結局ここは通りません。

このコースは 15 で行き止まりですが、玉を 15 地点まで持って来られれば 27 桂が可能なので、局面の打開ができそうですね。

ただ、コースが一本道だからと言って、手順も一本道かと言うと、さにあらず。実は途中に重要な伏線が挿入されています。その伏線が現われる 52 手目まで手順を一気に進めましょう。

57 麒麟 同銀右 66 麒麟 同銀右引 77 麒麟 同銀引 88 麒麟 同銀左引 79 麒麟 同玉 68 麒麟 同銀右 77 麒麟 同銀右引 88 麒麟 同玉 79 麒麟 同銀左 68 麒麟 同銀右上 77 麒麟 同銀右 86 麒麟 同銀右引 97 麒麟 同玉 88 麒麟 同銀左上 77 麒麟 同銀右上 86 麒麟 同玉 97 麒麟 同銀引 88 麒麟 同銀左上 77 麒麟 同銀左上 66 麒麟 同銀右上 75 麒麟 同玉

(途中図 2 : 52 手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	一
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	二
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	三
馬	馬	歩	馬	馬	馬	馬	馬	馬	四
馬	馬	王	馬	馬	桂	馬	馬	馬	五
馬		馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	六
馬	馬	馬	馬	馬	桂	馬	馬	馬	七
馬	馬	馬	馬	馬	馬	銀	銀	桂	八
馬	馬	馬	桂	馬	歩	桂	銀	王	九

攻方持駒 麒麟137

ここを最短で通り抜けるには

86 麒麟 同銀右上 95 麒麟 同銀左上 …

で 84 に空間を空ければ良いのですが、ここで 8 手余分に手数を掛けて、逆側から空間を作ります。

86 麒麟 同銀左 77 麒麟 同銀左上 66 麒麟 同銀左上 55 麒麟 同角 64 麒麟 同銀右 73 麒麟 同銀右引

(途中図 3 : 64 手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	一
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	二
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	三
馬		歩	馬	馬	馬	馬	馬	馬	四
馬	馬	王	馬	馬	桂	馬	馬	馬	五
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	六
馬	馬	馬	馬	馬	桂	馬	馬	馬	七
馬	馬	馬	馬	馬	馬	銀	銀	桂	八
馬	馬	馬	桂	馬	歩	桂	銀	王	九

攻方持駒 麒麟131

余分に手数は掛かりましたが、この手順を入れたおかげで角が 55 に来ました。この効果は最終手に現れるので覚えておいてください。

さて、ここから玉が 15 に到達するまで、一気に手順を進めます。

84 麒麟 同玉 75 麒麟 同銀上 64 麒麟 同銀右上 73 麒麟 同銀右 82 麒麟 同銀右引 93 麒麟

同玉 84 麒麟 同銀左上 73 麒麟 同銀右上 82 麒麟 同玉 93 麒麟 同銀引 84 麒麟 同銀左上 73 麒麟 同銀左上 62 麒麟 同銀右上 71 麒麟 同玉 82 麒麟 同銀左 73 麒麟 同銀左上 62 麒麟 同玉 71 麒麟 同銀 82 麒麟 同銀左引 73 麒麟 同銀左 64 麒麟 同銀左 53 麒麟 同銀左上 42 麒麟 同銀右上 51 麒麟 同玉 62 麒麟 同銀左 53 麒麟 同銀左上 42 麒麟 同玉 51 麒麟 同銀 62 麒麟 同銀左引 53 麒麟 同銀左 44 麒麟 同銀左上 33 麒麟 同銀左上 22 麒麟 同銀右上 31 麒麟 同玉 42 麒麟 同銀左 33 麒麟 同銀左上 22 麒麟 同玉 31 麒麟 同銀 42 麒麟 同銀左引 33 麒麟 同銀左 24 麒麟 同銀左 13 麒麟 同玉 22 麒麟 同銀引 33 麒麟 同銀左引 24 麒麟 同玉 13 麒麟 同銀右 22 麒麟 同銀右引 33 麒麟 同銀引 44 麒麟 同銀引 35 麒麟 同銀左 26 麒麟 同角 15 麒麟 同玉

(途中図 4 : 168 手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	一
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	二
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	三
馬	馬	歩	馬	馬	馬	馬		馬	四
馬	馬	馬	馬	馬	桂	馬	馬	王	五
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	六
馬	馬	馬	馬	馬	桂	馬	馬	馬	七
馬	馬	馬	馬	馬	馬	銀	銀	桂	八
馬	馬	馬	桂	馬	歩	桂	銀	王	九

攻方持駒 麒麟79

ここがちょうど折り返し地点です。ここで攻方は 27 桂としますが、27 麒麟を取ったことに特に意味はなく、39 地点が空所になったことが本質的に重要です。受方も 27 桂を同銀と取り返す必要がないので、さっさと元来た道を引き返します。

通るコースは来た時の道をそのまま引き返すだけ。ただし 64 角を 55 に移動させた伏線手順は帰路では不要なので出てきません。

27 桂 24 玉 15 麒麟 同角 26 麒麟 同銀右 35 麒麟 同銀右上 44 麒麟 同銀左上 33 麒麟 同銀左 22 麒麟 同銀左引 13 麒麟 同玉 24 麒麟 同銀右上 33 麒麟 同銀左上 22 麒麟 同玉 13 麒麟 同銀引 24 麒麟 同銀右上 33 麒麟 同銀右上 42 麒麟 同銀左上 31 麒麟 同玉 22 麒麟 同

銀右 33 麒 同銀右上 42 麒 同玉 31 麒
 同銀 22 麒 同銀右引 33 麒 同銀右 44 麒
 同銀右 53 麒 同銀右上 62 麒 同銀左上
 51 麒 同玉 42 麒 同銀右 53 麒 同銀右
 上 62 麒 同玉 51 麒 同銀 42 麒 同銀右
 引 53 麒 同銀右 64 麒 同銀右上 73 麒
 同銀右上 82 麒 同銀左上 71 麒 同玉 62
 麒 同銀右 73 麒 同銀右上 82 麒 同玉
 71 麒 同銀 62 麒 同銀右引 73 麒 同銀
 右 84 麒 同銀右上 93 麒 同玉 82 麒 同
 銀引 73 麒 同銀右引 84 麒 同玉 93 麒
 同銀左 82 麒 同銀左引 73 麒 同銀引 64
 麒 同銀引 75 麒 同玉 84 麒 同銀引 95
 麒 同銀引 86 麒 同玉 75 麒 同銀引 66
 麒 同銀右引 77 麒 同銀右 88 麒 同銀右
 上 97 麒 同玉 86 麒 同銀引 77 麒 同銀
 右引 88 麒 同玉 97 麒 同銀左 86 麒 同
 銀左引 77 麒 同銀引 68 麒 同銀右引 79
 麒 同玉 88 麒 同銀左 77 麒 同銀左引
 68 麒 同玉 79 麒 同銀右 88 麒 同銀左
 上 77 麒 同銀左 66 麒 同銀左 57 麒 同
 銀引 48 麒 同銀引 59 麒 同玉 68 麒 同
 銀左 57 麒 同銀左上 39 麒 同麒
 まで 330 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	一
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	二
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	三
銀	銀	歩	銀	銀	銀	銀	銀	銀	四
銀	銀	銀	銀	桂	銀	銀	桂	銀	五
銀	銀	銀	銀	銀		銀	銀	桂	六
銀	銀	銀	銀	桂		桂	桂	桂	七
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	桂	八
銀	銀	銀	桂	王	歩	銀	銀	王	九

持駒 なし

詰上り局面をご覧ください。55 角の睨みにより、28 銀で 39 麒を取ることができません。53 手目から余分に手数を掛けて 64 角を 55 に移した効果が最後の最後に現れました。

本作、投稿当初は片道だけの 100 手の趣向作だったのですが、作者はその後も推敲を重ね、手数は 3 倍になり伏線なども入った立派な作品に仕上がりました。詰上りもピンされた銀の利き上の麒麟で締めており、本作の主演である銀と麒麟を強調しています。

作品の本質的な狙いについては、最初の投稿

時のコメントに述べられていますので、まずはそれを紹介します。

【作者のコメント】(初回投稿時)

七郎さんの盲虎作品及び雲海さんの酔象作品へのパロディー作。

麒麟でも出来る事は出来たのですが、その性質上ただでさえ受方玉の可動枡が約半分しかない(仮に麒麟をチェス盤に乗せると、白枡にある麒麟は白枡にしか利かず、黒枡にある麒麟は黒枡へしか利かないという、一種の「ビショップ現象」が起こるため)上に、おまけに盤面の端に玉が行くと麒麟では王手が続かなくなって駄目というわけで、実は玉の可動範囲はかなり限定されています。その中であっては上の手順で通過可能な枡は全て通したつもりなのですが…。

今回フェアリーDBで過去の麒麟使用作品を調べてみましたが、協力詰で麒麟の腹や背後に金がくっついて終了、みたいな単調な作品が多く、麒麟の真の良さが発揮されているとは思えませんでした。実際性能に癖があって初めのうちは扱いにくい駒ですし、短編には不向きかも知れませんが、手なずければ結構面白い趣向作が出来そうです。

今回の投稿作が新手筋を開拓しているとはいい難いですが、今回は問題提起という事で。

☆筆者にも麒麟を使った作品はありますが、小峰さんの仰る通り、その潜在能力を活かした作品にはなっていなかったと思います。後に雲海さんの短評も紹介しますが、麒麟の能力はまだまだこんなものではないと思います。

☆ちなみに筆者は題名の由来が分からなかったのので、作者に尋ねてみました。

【作者のコメント】(題名について)

Rainbowというイギリスのロックバンド(リッチー・ブラックモアがギタリスト、ロニー・ジェイムス・ディオが初代ヴォーカリスト)の1st アルバムの1曲目のタイトルが "Man On The Silver Mountain" (邦題「銀嶺の覇者」)。

☆皆さんは分かりましたか?

この曲の音源はYouTubeにアップロードされている(著作権の問題はないのでしょうか?)ので、それをBGMにしてfmview等で本作を並べるのも一興だと思います。

【短評】

雲海 さん

こちらも1往復で、行きの時に角を55へ移動させるのが鍵ですね。27桂の後、構造が破綻せずに済んだのは凄いなと思います。

さて気になったのが、27桂を除いて市松上の空間しか着手が無かったことです。

このタイプの作で麒麟の利きならば当たり前ではありますが、もう1つの市松上の空間を巻き込むことが出来れば更に化けると思います。少なくとも「最小公倍数の原理」は可能はずです。

(話はずれますが、拙作「傘の曲」(不完全)もこの発想から出来ました。あれ?修正が…)

ただ、壁駒の構築(これが意外と難しい)と駒数の制限が大きな壁となっていますが…

☆実際に「最小公倍数の原理」を持つ作品を創作した作者の言葉だけに説得力がありますね。

「傘の曲」(作意 9112手、2010年4月

WFP22号)の修正図、期待しています。

また、「傘の曲」は回転型趣向でしたが、本局は扇形軌道を行き来する往復型趣向。筆者は往復型趣向で「最小公倍数の原理」が実現できるのかどうかにも興味があるので、この辺の研究にも期待しています(他人を当てにする前に自分で考えるべきなのでしょうけど)。

たくぼん さん

手数は長いですがキーが2つ(39に空間を作る&55銀と64角の位置交換)だけなので解きやすい。創りようによってはもっとキーを複雑にも出来そうですが検討が大変なのかな。

桂と歩の配置でルートを作るのはうまいと思いました。

☆解答を見ていただければ分かる通り、本質的には一往復の趣向作ですし、それほど難しい手も入っていないので、論理的に考えればスッキリ解ける作だと思います。見た目だけで判断してはいけないのは、人も詰将棋も同じですね。

変寝夢 さん (※無解)

何となく趣向(かしの飛打角合、角打飛合っぼいやつ)は分かった。盤駒が使えないので思考する気はないが、手順中53桂成が入るのか興味がある。

☆変寝夢さんはもしかしたら「成禁」の条件を見落としたのでしょうか。それが無解の要因の一つになったとしたら勿体ないですね。

【総評等】

変寝夢 さん

33-3には未練があるが、33-4が解けたのでよしとしよう。

小峰 さん

詰将棋以外の分野で、今夏と今秋にけりを付けなければいけない課題が出来てしまい、なかなか解図時間が取れません。今月無解の2題にはもっと時間を費やしたかった。クオリティ的には、いわゆる「期末」っぽくなったのでしょうか。

☆大変そうですね。詰将棋は無理のないペースでやってください。出題は基本的に「全作出題」なので、期末を意識はしていませんが、中長編が4題あったので、そう見えたかもしれません。

たくぼん さん

見た目は難解そうでしたが、やってみると意外とそうでもなく楽しめる内容でした。食わず嫌いとか手をつけない人が多いかもしれないのは残念です。



推理将棋第 44 回出題

出題日 : 2011 年 5 月 3 日
 解答締切 : 2011 年 5 月 20 日

推理将棋第 44 回解説 担当 DD++

今回は春の陽気にやられたのか、44-1 で最終手に「右」が抜けた方 2 名、44-2 と 44-3 の解答が逆だった方 1 名と解答の凡ミスがちらほら。どちらもおまけの正解とさせていただきますが、皆様くれぐれも凡ミスにはお気をつけください。

44-1 初級 KG さん作

実際には指さなかった手 7 手

「昨日隣でやってた将棋見たかい？」
 「ああ見たよ。確か 7 手で後手が詰まされてたね」
 「先手は 5 手目に銀を取りながら駒を成る手を指すことができたけど
 実際にはその手は指さなかったね。それが勝因かな」
 「後手は 6 手目に同銀と指すことができたけど
 実際にはその手は指さなかったね。それが敗因かな」

さて、二人の見た将棋はどういう将棋だったでしょうか？

(条件)

- ・ 7 手で詰んだ
- ・ 先手は 5 手目に銀を取りながら駒を成る手を指すことができたが、その手は指さなかった
- ・ 後手は 6 手目に同銀と指すことができたが、その手は指さなかった

出題のことば (担当 DD++)

推理将棋の館にある 7 手詰めリストのカン

ニングなしでの挑戦をどうぞ。

追加ヒント：

もう 1 枚の攻め駒を 5 手目に入手するのは至難。素直に 3 手目に角を入手しましょう。

推理将棋 44-1 解答

▲ 7 六歩 ▽ 3 四歩 ▲ 2 二角不成 ▽ 5 二金左 ▲ 4 二角 ▽ 4 一玉 ▲ 3 一角右成まで 7 手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		王	馬	科	科	香
二		飛			角					
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四							歩			
五										
六				歩						
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 銀

初形から 7 手や 8 手で詰む順は全手順が解析されており、館長さんの運営するサイト「推理将棋の館」で見ることができます。特に 7 手詰に関しては 11 形 29 手順しかないのです、ベテランの人なら当然のように全部空んじることができるため、もはや 7 手詰めは問題にならないのですが、ここは必ずしもそういう人たちだけではないので 7 手詰めでも出題してみました。

さて、全手順の前提知識なしにこの問題を解いてみましょう。第一のポイントは、後手玉を詰めるのもう 1 枚の駒をどう入手するかです。3 手目に角を入手する方法と 5 手目に銀を取れるところで別の駒を取った可能性があります、後者はよく考えて見ると至難です。

後者なら、4 手目指了時に銀と何かの両取りに

なっていなければならず、しかもそのもう1枚には6手目に同銀の可能性があったことから銀の紐がついていなければいけません。そんな手順は「76歩、34歩、44角、54歩」で71銀と22角の両取り状態にするしかありませんが、ここで5手目22角成としてもあと2手で詰まないことは明らかです。

よって2枚目の攻め駒の入手は3手目22角不成で、自然に31銀への当たりになるので、5手目に31角成としない限り1つめの条件は自然と満たされます。

そして2つめのポイントは取った角をどこへ使うかです。一番自然な使い方は、2枚角をトドメ地点に焦点をあわせるように5手目に打つこと。なるべく後手玉近くがいいと考え、トドメ地点は31で、このタイミングで角を打つのは42だと想像できます。そして31角右成とした形を考えると、後手の着手は52金左～41玉が金が逃げ道をうまく塞いでピッタリなことがわかります。

それにしても会話の3つ目と4つ目の呼応が心地いいですね。

それではみなさんの短評をどうぞ。

鈴川優希 「7手詰でもいろいろな条件で工夫ができるんですね。ちなみに、『角で銀を取れる局面があったが、取らなかった』という1条件では、余詰ありますか？」

■ないはず。2条件目は限定に無関係な解図のためのヒントですね。初級問題ですし。

中村雅哉 「7手詰としては比較的気付きにくい手順。」

■私も7手詰を全部数えようとしてよくこの手順を数え忘れるんですよ。

NAO 「指さなかった手を条件付けする試みが新鮮。5手目打つ手が盲点になりそうな巧い表現です。」

■指さなかった手を条件にするのは解図しにくいので超短編ならでは。

斧間徳子 「条件が新しいので新作になっていると思います。『～～できたけど、そう指さなかった』という条件は解きにくい条件なので、中長編で使われるとしんどそう。」

■この条件付けは超短編ならではと思います。中長編で使うと解図よりも検討が大変なのでまず作る人がいないんじゃないかと思います(笑)

はなさかしろう 「おお、7手！ やや複雑な条件ですが7手ならば...記憶に頼ってしまいました。先手条件から解の形と腹角頭銀の形に絞れる親切設計、使わせていただきました。デザートに「銀を取りながら」は省けるかな...と、久しぶりに7手の総ざらいも。」

■実はこの問題は限定最低限の条件で作られているわけではないので、いろいろ削っても成立します。でもそれをしない親切が初級問題。

S.Kimura 「『その手は指さなかった』という条件は意外と難しかったです。7手でも結構考えさせられました。」

■マニアの域に達している人たち以外にはまだまだ使える7手詰。

タラパパ 「5手目の条件『その手は指さなかった』は、『別の手を指した』といった表現のほうがよかったと思いました。7手目に『その手を指した』ので。」

■実は私もそこはひっかかったのですが、タイトルと会話がこうなので、条件だけ表現を変えると統一性を失うため、それを嫌ってこの形で出しました。ちょっとハラハラでしたが誤解した方はいなかったようで安心です。

リーグ戦ファン 「30年ぶりに7手詰パターンを考えながら楽しく解きました。余談の私見ですが、解かせる段階で『7手詰リストはここ』と誘導してあると、鼻白みます。答え合わせ目的なら分かりますが、自分で考えるのが楽しいのであって、ねえ。『カンニングなしでの挑戦』と明記してくださったDD++さんに賛同します。」

■30年前という私はまだこの世にいない時代ですね(汗)。カンニングして解くのはやはり解図の面白さという点では欠けるものがありますよね。

渡辺 「『その手は指さなかった』はなくても成立しますね。難しめの7手というのも面白いですね。」

■条件は過剰気味についているので、いろいろなところを省略しても限定には影響ありません。それでも削らないのが初級問題。というか、そこ削ったらこの問題の根本が(汗)

占魚亭 「瞬殺といきたい所でしたが、なかなか解けず焦りました。」

■7手詰の中でもとりわけ陰の薄い気づきにくい手順ですからねえ。

はらたっつ 「カンニングしないで解きましたよ。」

■ええ、カンニングするとおもしろさ9割減ですから。

隅の老人B 「締め切り前のヒントに助けられ。ハイ、毎度です。」

■毎回有用なヒントを出していければと思います。ハイ、がんばります。

鈴木康夫 「変化飛ばし(他には無いことの証明はせず)を使いました。」

■飛ばすほどの変化もないような気もしますが(汗)

諏訪冬葉 「前に同じ手順の問題を解いたから覚えていました。」

■条件が違えば別物といっても手順を覚えられては仕方がなく。難しいものです。

チャンプ 「これは数秒で解けました。条件が面白いですね。推理将棋の普及にぴったりの問題だと思います。」

■初級の7手とはいえ数秒は速すぎですって(笑)

たくぼん 「条件付けで新作となる良い例ですね。ちょっと考えました。」

■実は私もちょっと考えました。この手順は盲点に入りがちです。

はてるま 「数ある7手詰めの中ではもっともわかりにくいものの一つ。初心者は手こずるかもしれませんね。」

■7手とはいえナメてかかると痛い目を見ます。

正解：20名

S.Kimura さん 斧間徳子さん 鈴木優希さん
鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん
占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん
チャンプさん 躑躅さん テイエムガンバさん
NAOさん 中村雅哉さん はてるまさん
はなさかしろうさん はらたっつとさん
宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん
渡辺さん

44-2 中級 KGさん作
打歩詰を知らない二人(A) 11手

A君「さっき隣でやってた将棋見たかい？」
B君「ああ、11手目に指した手が打ち歩詰めだったやつだよ」
A君「そうそう。どうやら二人とも打ち歩詰めが禁じ手だって知らなかったみたいだね」
B君「つまり打ち歩詰めは禁じ手ではないが、それ以外は通常の指し将棋と同じルールで二人とも対局していたってことだね」
A君「そして、11手目に持ち駒の歩を打って相手玉を詰ませて終局したわけだ」
B君「そういうことだね」
A君「確か、1手目と2手目は玉の手だったね」
B君「それから、3手目と4手目は歩の手だったよ」
A君「そうそう、7手目は不成の手だったよね」
B君「えっ？7手目は駒を成る手じゃなかったっけ？」

どうやら、A君とB君は両隣の全く別手順の将棋を見ていたようです。二人の見ていた将棋はそれぞれどういう将棋だったのでしょうか。

(共通条件)

- 11手目に打歩詰になった
- 1手目と2手目は玉の手
- 3手目と4手目は歩の手

(A君の見た将棋)

- 7手目は不成の手

出題のことば (担当 DD++)

打歩詰が禁手じゃなくても、もちろん二歩は禁手ですよ。

追加ヒント：

先手は歩の他に銀も打ちます。トドメは53歩。

推理将棋 4 4-2 解答 担当 DD++

▲5八玉 △5二玉 ▲7六歩 △5四歩 ▲3三角不成 △4二銀 ▲同角不成 △6六角 ▲5一銀 △5七角不成 ▲5三歩まで11手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	王	銀	王		科	皇	一
	飛			王	角				二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
			歩						四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	王	歩	歩	歩	歩	七
				王			飛		八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

推理将棋のほとんどは敵玉を普通に詰ます将棋ですが、この問題のように打歩詰であったり、千日手であったり、ちょっと変わった将棋も問題として作れます。そこは推理将棋の自由度というものでしょうか。

自由度といえば、解図の方法も人それぞれです。ここでは少し変わった解き方をしてみましょう。それは「短手数手順に類型を求める」というもの。トドメが歩打ちということは、すでに周りにはガチガチに包囲されている状態のはずです。そんな状態にできるのであれば、少し手を変えれば7手目や9手目で普通に詰ませられたのでは？、と考えるのです。

この問題は初手に攻方玉が動く無意味そうな手があって、その後7手目(実質5手目)に不成、ということは「76歩、52玉、33角不成、42銀、同角不成、54歩、53銀」の7手詰あたりが匂うところです。この手順を基本に、53ではなく51に銀を打ってから53歩とすればうまくいきそうだと気づけば答えはすぐそこです。

攻方がすることは76歩～33角不成(歩入手)～42角不成(銀入手)～51銀～53歩。玉方がすることは[52玉、54歩、42銀]～66角～57角成/不成(二歩解消)。あれ、攻方5手玉方5手なので10手で打歩詰ができてしまいました。実際に並べても10手で矛盾なく先手玉の打歩詰は成立します。

ところが、これをあえて10手問題にしなかったのがこの問題の面白いところ。後手の57角の成生は非限定でしたが、「初手玉」で攻方玉が八段目にいたらどうでしょう。58玉と57角不成以外の組み合わせは全て王手になってしまっただけで手順が成立しないのです！

成生限定のためにこのような方法が使われることはめったになく、また非常に難しいのですが、デビュー作でいきなりそれをやってのけたKGさん、お見事でした。

それではみなさんの短評をどうぞ。

鈴木優希 「無駄手を入れることによって後手角成の非限定を消してしまっている！」

■これは新人離れした条件付けだと思わざるを得ません。

中村雅哉 「10手案 (mixi 254番) を知っていれば簡単。2手目玉で10手目成生を限定させるのがうまい。」

■10手解を知ってればほとんどゴール目前からスタートしてるようなものですからねえ。しかし初手玉はやはりうまい条件。

NAO 「42不成は定番。フツーは53銀打のところ、歩打ちに変わり51銀が打ちにくい感じ。」

■本問はこの42角不成を定番と思えるかどうかで感じる難度が大きく変わったようです。

斧間徳子 「42角～51銀は、打ち歩詰めならではの、あまり見かけない筋。」

■普通は42角とくれば53銀ですからねえ。

はなさかしろう 「打歩詰を真剣に考えたことがなかったので面食らいましたが、案外手数がかかる様子。となると短手数でおなじみの詰み形が有力で一転解きやすい問題でした。本問は初手の遊び手がツインにぴったりで絶妙でした。」

■やはり42角53銀の応用を思いついた方には早かった様子。しかしやっぱりこの問題の真髄は初手ですよ。

S.Kimura 「初手は後手の角で歩を取ったときに王手にならないことで限定していると閃き、5歩までの打歩詰が見えました。」

■考えが5歩までに至るにも人によっていろいろな過程があるものです。

タラパパ 「10手目不成限定のための初手玉ですか。なるほど考えましたねえ。」

■これが新人の作品で出てくることに驚きです。

リーグ戦ファン 「まず細かい条件を見ずに、打歩詰に最短手数に挑戦。たぶん▲42角を基点に▲53歩までだよ。・・・と手数を数えたら、

10手解。条件を見て、先手無駄手を加えて、そのまま答えでした。7手詰めリストを見たあとだから易しかったかな？」

■リーグ戦ファンさんの解き方なら、7手詰めリストを見てなくてもこれは解きやすかったんじゃないかと思います。

渡辺 「ポイントは初手玉の意味と、双方の角出動で一手をどう稼ぐか。中段で詰めようとするとはまります(思いっきりはまりました)」

■おお！？中段玉ですか。私は明らかに手数が足りないと考えていたのですが、何かおいしいところまでいける妙手があるのでしょうか。

占魚亭 「57歩の取り方が分かれば簡単。」

■33角不成が歩を得つつ後手角道をあける一石二鳥の手。

はらたつと 「14歩13角ルートは1手足りないでこれか。」

■そうそう、先手がトドメ用の歩をかじった穴から出て行くのです。

隅の老人B 「打歩はよいが、2歩はダメ。3度の不成、ウマイ、ウマイ。」

■言われてみれば不成3回もあるんですねこれ。

諏訪冬葉 「ヒントの『銀を打った』で▲42銀を考えてしまい、上級より時間がかかりました」

■あちゃー、そっちへいっちゃいましたか。これはヒント失敗。

チャンプ 「まず先手の玉の着手が詰みに関わらないのは当然として、それでいて意味を持たせるとしたら先手の1手目は後の王手を回避する場所の選択、、、と、ここまでは良かったんですが・・・先手の5筋の歩を取らせるルートは13角～57角不成だと思っていたので苦戦しました。難問だと思います。」

■はらたつとさんといいチャンプさんといい、なぜ角が57へ行くのに13から回りがるの

しょうか (笑)

たくぼん 「42 銀や 62 銀を考えると 13 手かかる。51 銀が好手」

■42 銀形は初手玉の制約がなければ 11 手でできるんですけどねえ……。

はてるま 「打ち歩詰め最短コース (10 手) + 58 玉という図式ですね。上級問題あつてのプラス 58 玉ですが、57 角の生限定と相まっとうまくはまっていますね。」

■上級問題がなくてもこの初手追加は面白い着想だと思います。

正解：20 名

S.Kimura さん 斧間徳子さん 鈴川優希さん
鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん
占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん
チャンプさん 躑躅さん テイエムガンバさん
NAOさん 中村雅哉さん はてるまさん
はなさかしろうさん はらたっとさん
宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん
渡辺さん

44-3 上級 KG さん作
打歩詰を知らない二人(B) 11 手

中級と同じ会話

(共通条件)

- ・ 11 手目に打歩詰になった
- ・ 1 手目と 2 手目は玉の手
- ・ 3 手目と 4 手目は歩の手

(B 君の見た将棋)

- ・ 7 手目は成の手

出題のことば (担当 DD++)

初手に攻方玉を動かすのは異質。この条件をどう考えますか？

追加ヒント：

馬と歩の 2 枚のみの詰め上がりです。トドメは 63 歩。

推理将棋 44-3 解答 担当 DD++

▲4 八玉 ▼6 二玉 ▲7 六歩 ▼6 四歩 ▲3 三角不成 ▼7 二飛 ▲4 二角成 ▼7 七角成 ▲4 一馬 ▼6 七馬 ▲6 三歩 まで 11 手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金		馬	銀	桂	香		一
		飛	王							二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩		三
			歩							四
										五
		歩								六
歩	歩		雀	歩	歩	歩	歩	歩		七
					王		飛			八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香		九

持駒 金

44-2 との対比で今度は 7 手目が成。初手玉があまり意味のない手だとするなら、実質 5 手目に成の来る短手数手順はかなり多く、「短手数手順に類型を求める」で解くのは難しそうです。そこで今度は別方向からアプローチしてみましょう。先手が歩を打つためには、後手はその筋の先手歩を取らなければいけません。さて何筋の歩が取りやすいでしょうか？

最初に考えるのはやはり 77 角成の 1 手で取れる 7 筋でしょう。初手玉も王手回避と考えれば納得できます。しかし、73 や 72 の守りは厚く、そのような場所に歩を打って簡単に詰むとは思えません。次に考えるのは 5 筋でしょうか。しかし、5 筋の歩を取る展開はどうしても中級と同じ流れになり、7 手目は不成でなければ困っ

てしまいます。

となると残るまともな可能性は6筋。77角成～67馬や、66歩に同角と、6筋先手歩は意外と消しやすいことに気づけるかが勝負どころでした。

詰み形の方は、62歩までとは考えづらいので63歩までが妥当なところ。馬を使った41と63の連携は手筋ですから、攻方は33角不成～42角成～41馬としたのでしょう。とすると先手に66歩を指す余裕はないので、歩消去は77角成～67馬の方を使います。72の逃げ道は後手飛で封鎖。見事なまでにピッタリの詰め上がりです。本来なら反則ですけどね(笑)。

ところでこのツイン問題、条件も2問できちんと対になっているだけでなく、先手が角不成なら後手も角不成、先手が角成なら後手も角成など手順も非常に対比性に優れていて、ツイン問題の理想にかなり近い非常に美しい問題だと私個人としては思います。みなさんもこんな美しい問題作ってみませんか？

それではみなさんの短評をどうぞ。

鈴川優希 「『44-2が5八玉なら、今度は6八か4八だろうなあ。これが限定されるのは4七か6七に後手の馬でも侵入してくるからだろう』と考えて氷解。それにしても、先手は最後歩じゃなくて金を打てばよかったのに……。(笑)」

■そういうところでわざわざバカな方をとるのが推理将棋(笑)。

中村雅哉 「3手目玉位置の限定から、48玉で67歩を取らせて63歩までが予想できる。易しいが条件付けが巧妙で新人離れしたツインでした。」

■本当に新人の作品とは思えないツイン作品でした。

NAO 「67馬が王手にならない初手48玉と次になるための5手目33角生。伏線のある2つがよい手に感じました。」

■解いてから全体を眺めると伏線が多いんですよこの作品。そういう意味では手順も秀逸。

斧間徳子 「すべての手がうまく限定されていて感心。前作もそうだが、『1手目と2手目は玉の手』という条件がうまい。」

■攻方の玉の手に「!？」と思いつつも解けて納得。うまい条件です。

はなさかしろう 「こちらの初手は馬のスライドまでかわせる味のよい手なので先に解けました。▲42角-△52玉と▲41馬-△62玉は対になりやすいので…と、中級へ。解き心地良く美しいツインですね。」

■その組が対になりやすいというのは言われてみれば確かに。美しいツインというのは同感です。

S.Kimura 「44-2からの類推で、7七角成から6七馬で6筋の歩を切らせると予想し、6三歩までの打歩詰を考えました。でも、最後に6三金としていたら先手が勝っていますね。」

■そういうところでわざわざバカな方をとるのが推理将棋(笑)。あれ、このレスどこかで書いたような……

タラパパ 「次は王手回避の初手玉限定。前問との条件対比もお見事でした。」

■本当に見事なツイン問題でした。

リーグ戦ファン 「『ツイン問題』にすっかり騙されました。2とは全く違った展開かと思いきや、一手一手の意味がすべて同じ。双子の細かい差を楽しむ「ツイン」だったのでですね。解いてから眺めてみれば、2だけだとグダグダした条件付けが必要になるところ、「ツイン」にしたことで、逆にスッキリ感が出てますね。」

■初手玉だけは意味は全く違いますが、たしかに意味は似ている手が多いですね。しかし、意味が同じでも場所がまったく別、平行世界のような不思議な2局だったかとおもいます。

渡辺 「本問のポイントも 44-2 と同じで解決方法も同じ。同じ問題を二題解いた気分でした。対比は美しいのですが…。もちろん一題が二題分難しかったので十分お腹一杯ですが。」

■解き方によっては同じアプローチの似たような問題になってしまうのがこの系統のツイン問題の最大の欠点であり永遠の命題ですね。

占魚亭 「初手の意味に気付けるかどうか。」

■48 玉に 67 馬の形を思い浮かべられるかどうかですね。私はこれが見えずに苦労しました・・・。

はらたつと 「成る手ありだと 5 筋からはなれて、長考。追加ヒントで 6 筋とわかりそこからスンナリ」

■追加ヒントが役立ったようですね。

隅の老人 B 「最終手、時間に追われて歩を打った？いいえ、ケチです。金は使わないね。」

■トドメくらいケチケチしなくてもよさそうなものですが（笑）

鈴木康夫 「どちらも先手玉の移動の意味付けが良いですね。」

■まさに。特に中級の方の先手玉は目新しいです。

諏訪冬葉 「ヒントの最終手から逆算しました」

■こっちはヒントが役立ったようですね。

チャンプ 「こちらは早い時期に解けていました。詰み上がり形を考えて、成る手が入るなら 6 筋が効率良さそうだと思います。この順を発見できました。ツイン作として申し分ない仕上がりと感じました。」

■6 筋に最初に目をつけるとはやりますね。これがセンスってやつでしょうか。

たくぼん 「先後玉の位置限定が見事。前作と合わせ見事なツインと言えますね」

■本当に見事なツインでした。

はてるま 「前問もそうですが、初手の玉移動の意味付けがとてもうまくいっていると思います。これで初投稿とはおそれいました。傑作と思います。」

■これが初投稿とは、本当に今後が楽しみです。

正解：20 名

S.Kimura さん 斧間徳子さん 鈴木康夫さん 隅の老人 B さん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん チャンプさん 躑躅さん テイエムガンバさん NAO さん 中村雅哉さん はてるまさん はなさかしろうさん はらたつとさん 宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん 渡辺さん

総評

鈴木康夫 「今回は珍しく 3 題とも早く解けたので、最速解答を目指します。打歩詰の問題というのは今まで考えたこともなくて、面白かったです。次回も解答できればいいなと思っています。」

■残念、躑躅さんに次いで 2 番手でした。次こそは 1 番乗り目指してがんばってください。推理将棋は打歩詰だけでなく、千日手やらなんやら面白い条件設定はいろいろあるんですよ。ただ問題はここに出すには難しすぎる・・・。

中村雅哉 「今月はとても易しい作品群でした。今後もこの難度でお願いします（笑）。」

■20 名全員全問正解でしたからね（笑）。難度はこれくらいをベースにたまに難しい月をませれたらなあ、と思っています。

タラパパ 「ツインの先手玉の使い方には優れた創意を感じます。特に先手玉の無駄手を利用した中級の限定、これは新手筋といえるかもしれません。」

■ツインの先手玉は本当に見事でした。中級の限定は少なくともおもちゃ箱では前例のない成生限定方法ですね。

リーグ戦ファン 「全体に、KGさん、なんとも条件付けが綺麗ですね。派手な条件設定ではなくて、細かい条件付けがうまい初投稿ってのはすごすぎます。」

■全くです。ベテラン勢には恐怖以外の何者でもありません（汗）

隅の老人B 「薫風の5月。部屋にこもって推理将棋を考える。どう考えても、こんなことは不健康？ですね。公園ではバラが咲いたの便りあり。デジカメ片手に出かけよう、です。」

■部屋にこもって結果項書きと次月選題をしている私は不健康のカタマリです（笑）

推理将棋第44回出題全解答者： 20名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん 鈴川優希さん
鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん
占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん
チャンプさん 躑躅さん テイエムガンバさん
NAOさん 中村雅哉さん はてるまさん
はなさかしろうさん はらたっとさん
宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん
渡辺さん

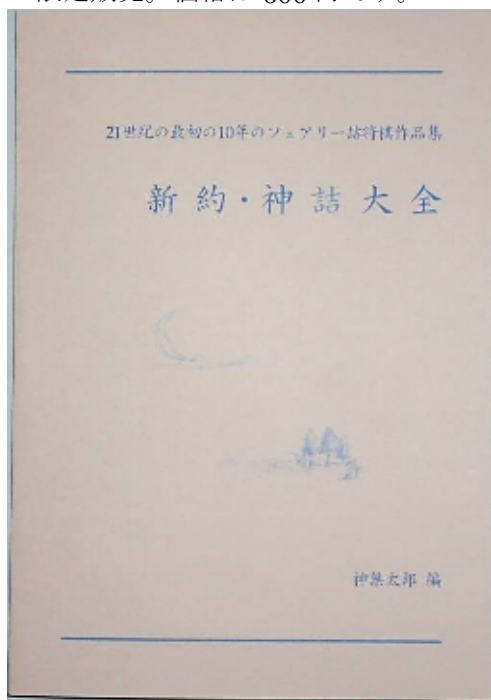
当選： タラパパさん

おめでとうございます。

新約・神詰大全

全国大会での販売のお知らせ

来る7月17日の詰将棋全国大会で「新約・神詰大全」の販売を行います。部数は12冊のみの限定販売。価格は600円です。

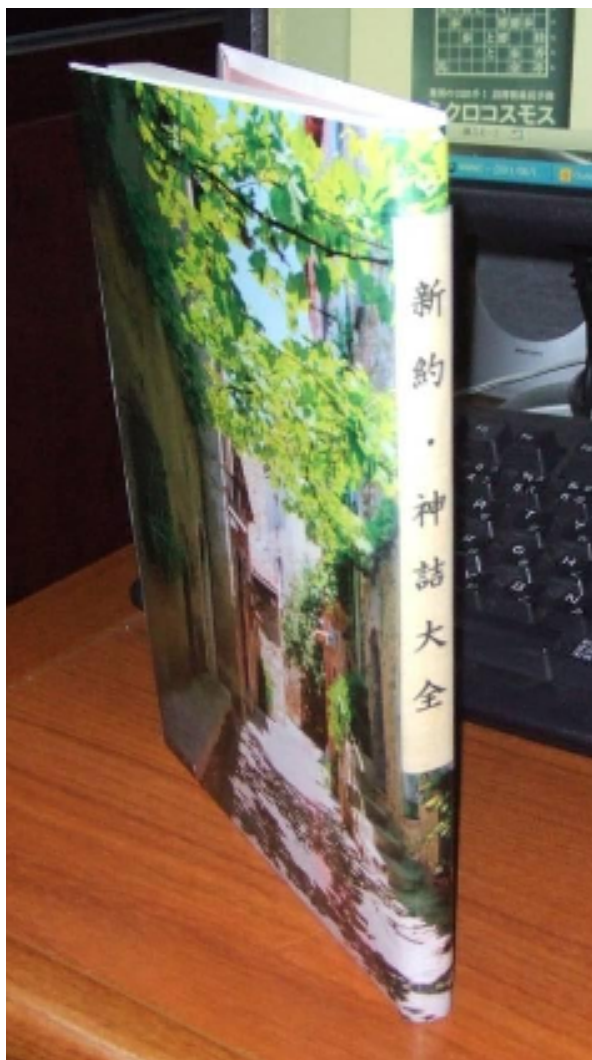


また、今回の全国大会のみの特典として、将棋世界2006年2月号付録「マイクロコスモスの世界」を「新約・神詰大全」購入者に差し上げます。



で開かれるので、お越しいただいた皆様への歓迎の印として配布するものです。この特典の付与は今回限りとなりますので、ぜひこの機会をご活用ください。

おまけ：自分流「新約・神詰大全」の楽しみ方



上は私個人用の「新約・神詰大全」の写真です。「新約・神詰大全」は最初の写真の通り薄いピンクの表紙の本で、ブックカバーは付いていません。そこで、自作のブックカバーを掛けることにしました。

このカバーの材料は使い終わったカレンダーです。カレンダーには綺麗な図柄のものが多く、紙質も比較的丈夫なので、本のカバーに適しています。こうしてひと手間掛けると一層愛着が湧くものですね。

この特典は、今回の全国大会が私の地元高槻

(神無七郎／橋本孝治)

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

7月15日(水)

JIGSAW BOX #6

普通詰将棋 2題、フェアリー詰将棋 3題

新約・神詰大全（書籍版）のご紹介

「新約・神詰大全」の書籍版が発行されました。



申し込み方法を明記しておきます。是非御購読下さい。

申し込みの流れ

「新約・神詰大全」入手ご希望の方は下記手順でお申し込みください。

- 申込者 → 神無太郎 ・ 「新約・神詰大全」
購入申し込み（eメール：sgr03057@nifty.com）
*郵便番号、住所、氏名、部数、eメールアドレスを明記願います。
- 申込者 ← 神無太郎 ・ 「新約・神詰大全」
「新約・神詰大全」（メール便/ゆうメール/ゆうパック）+送金口座情報（eメール）
- 申込者 → 神無太郎 ・ 代金送金

- ※ 送金手数料は申込者でご負担下さい。
- ※ 領収書は発行しませんのでご了承ください。

投稿募集

Fairy of the Forest #28

課題：（協力詰）最終手=桂
投稿締切：平成23年7月15日

（投稿先）
→酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

第11回詰四会フェアリー作品展

課題：大駒4枚使用（フェアリーでは5枚以上も可。また初形に無くても可）ルール、手数は問いません。
投稿締切：平成23年8月6日（土）

（投稿先）
→たくぼん（takuji@dokidoki.ne.jp）

【あとがき】

6月と12月はWFP作品展がお休みですのでそれに変わる企画も今後は考えておかないといけません。今年の12月は小峰氏の提案で2年ぶりの「フェアリー短編コンクール」を開催することになります。詳細はおって発表します。たくさんの新人さんが参加して頂きたいと節に願っております。またそれに向けての初心者向けの原稿も募集します。よろしくお願ひします

2011年 第36号

Web Fairy Paradise

非売品
平成二十三年六月号
平成二十三年六月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市
発行兼編集人 須川卓二
発行所 Web Fairy Paradise 編集部
問合先
須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp